

ファミリー・サポート・
センターだより

～ふたごちゃんのサポート～



依頼会員Iさん

富山に引越し、慣れない環境での子ども3人の育児や家事など不安でいっぱいでしたが、協力会員のKさんは子どもたちと遊ぶだけでなく、急な用事の際にも対応してくれ、私の話し相手にもなってもらっています。

今では富山の母のような存在でとても感謝しています。

～ファミリー・サポート・センター会員

第1回

5月20日(月)

「子育て」その技と やりがいをどう伝えるか

金沢星稜大学こども学科教授 開 仁志氏

子育てとは「子育て」「育自」である。それは、子どもが自分で育つことを応援することであり、子どもを育てることによって自身も高まっていくことであると学びました。

第2回

5月29日(水)

「絵本が育む子どもの育ち」

富山県図書館を考える会代表 江藤 裕子氏

絵本の選び方や読み聞かせの注意点などについて話を聞きました。

年齢別にお勧めの絵本紹介もあり、受講者は気に入った絵本を探していました。

第3回

6月5日(水)

「ファミリー・サポート・センター会員および 子育てボランティアの活動について」説明と体験談

Q ファミサポと子育てボランティアは 何が違うの？

そんな疑問にお答えし、矢郷さんと小林さんに実際の活動内容を話していただきました。

活動のきっかけは？

小林：保育士が夢だったので保育実習ができました。

矢郷：協力会員が少ないことを聞いて手助けできたらと思いました。

困ったことややりがいを感じたことは？

小林：こどもひろばでの活動が多いので、支援センターの職員の方々がいらして心強いです。

ママたちの話し相手になって少しでもストレス発散してもらえたら嬉しいです。

矢郷：サポートしている子どもから写メや試合結果が送られてくると嬉しく思います。

子育てを手助けしてほしいママに少しでも手を貸してあげたいという思いがありますが、自信がないサポートは断る勇気も必要だと思います。



協力会員 矢郷厚子さん
子育てボランティア 小林裕子さん



意見交換会ではこんなお話が…

ファミリー・サポート・センター会員と子育てボランティアが、受講者のグループに加わり、活発に話し合われました。



受講者

「一旦サポートを引き受けたら、ずっと引き受けなければいけない」と思うと、協力会員になることに踏み出せません…。

大丈夫ですよ!!
サポートを引き受けても都合が悪いときは断ってよいのです。自分のできる援助内容の希望を伝えてかまいません。



協力会員



受講者

セミナーや講座の託児のときに、子どもに泣かれてしまうと、お母さんに嫌な思いをさせてしまうのではないかと心配になります。

こどもひろばでは、お母さんと一緒に子どもをみるのが基本です。支援センターの職員がいるので心強いです。



保育ボランティア

&子育てボランティア養成講座報告～

第4回

6月13日(木)

「子どもの体の発達と 病気&事故」

嶋尾こどもクリニック院長 嶋尾 智氏

小児科受診時のポイントや乳幼児のアレルギー対応、予防接種の必要性について話を聞きました。

見落としがちな危険箇所など、改めて考えさせられる機会となりました。

第5回

6月19日(水)

「遊びは心の栄養」

…子どもにとってのあそびとは…

富山市こども支援課 青井 陽子氏

子どもと家庭を取り巻く現状や、保育所の役割について話を聞きました。最後に青井氏のバイオリン演奏もあり、素晴らしい音色に心が癒されました。

第6.7.8回

6月24日(月)～28日(金)

「保育実習」

子育てボランティア希望者は、保育所や支援センターで3日間（一日3時間）の実習をしました。

第9回

7月3日(水)

「メディア時代の 子育て」

家庭教育専門相談員
岩井 真有美氏

オンラインゲームなどによる、小・中学生の「ゲーム依存」の問題やネットを楽しく安全に使うための方法について話を聞きました。

第10回

7月10日(水)

「乳幼児の事故と AED 講習」

日本赤十字社幼児安全法指導員
藤城 優子氏

心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使い方を学びました。参加者ひとりひとり実技訓練を行い、修了後に受講証をいただきました。

第11回

7月17日(水)

「ことばを育む ふれあい遊び」

言語聴覚士 永原 圭子氏

年齢ごとのことばの発達や、ことばを引き出す遊び方などを学びました。

CiCの幼児ことばの教室で実際に行われている指導やことば遊びなども体験しました。

養成講座受講後の感想

仕事もせずに子育てをしていたので長い期間、社会から遠ざかっていました。何かできることはないかと参加しましたが、いろいろと学ぶことができ、子どもと関わることの楽しさを思い出しました。

普段の子育てや小さな子どもと関わる時の大事なポイントがよくわかりました。

保育実習も体験できたのがよかったです。

AED講習を受講できてよかったです。

一度だけでは忘れるかもしれないので、また受講していきたいです。家の中の危険な箇所について確認しました。

私自身、核家族、転勤族ママで子育て真最中です。子育てを助けてほしい時もありますが、私も誰かの助けになればと思っています。

どの講座も自分の子育ての時期に聞きたかった内容でした。

今日、高校生の息子が帰ってきたら最高の笑顔に向けてあげたいと思います。

子どもの接し方はよくわかったのですが、保護者との接し方が難しいのではと思いました。

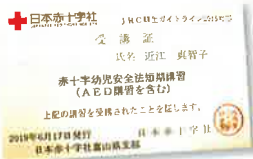
保護者との接し方も学びたいと思いました。

救急救命講習のお知らせ

**協力会員、両方会員の皆さんへ
救急救命講習会の受講は済みましたか？**

お子さんを安全に預かるため、「救急救命講習会」を受けましょう。

今年度は全10回、市内各地域に出向いて開催中です。未受講の方、一年以上前に受講した方もぜひご参加ください。



講習会終了後に受講証をお渡しします



受講証を手にする協力会員さん

今年度は残り3回！！

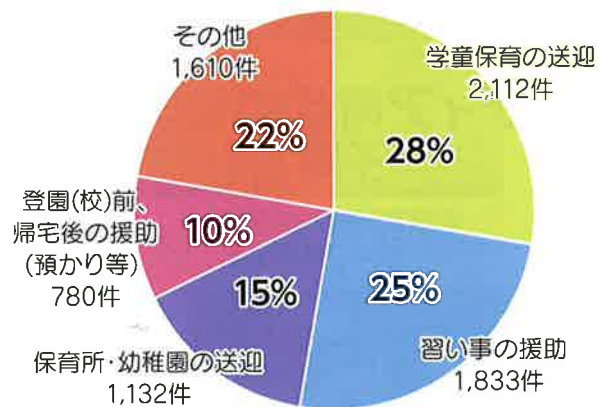
日時	場所
9月25日(水) 10:00～12:00	広田公民館ホール
10月8日(火) 10:00～12:00	水橋西部公民館ホール
10月31日(木) 10:00～12:00	婦中ふれあい館 軽運動室

講師 日本赤十字社幼児安全法指導員

平成30年度活動状況・会員報告

主な活動内容と件数 (合計 7,467 件)

1 学童保育の送迎 (放課後児童クラブ迎えなど)	2,112件
2 習い事の援助	1,833件
3 保育所・幼稚園の送迎	1,132件
4 登園(校)前、帰宅後の援助(預りなど)	780件
5 その他 (学校休み時、育児の手伝いなど)	1,610件



依頼会員 1,963 人
協力会員 623 人
両方会員 174 人
合計 2,760 人

H31(2019)年3月31日現在



富山市では依頼の約 70% が送迎サポートです。自身の運転能力を過信せず、安全な運転を常に心がけてください。

子どもの送り迎えなどで、協力会員が自動車を運転していて事故があった場合『賠償責任保険』は適用されません。(女性労働教会補償保険より)

安全・安心な活動を行うために、自分の自動車保険を確認し、『私有車・運転者登録申請書』の提出をお願いします。

◎サポートを予定していた日に不測の事態で活動が行うことが難しくなった場合は、すぐに相手の会員に連絡が取れるよう、常に連絡先を携帯してください。

お問い合わせ 富山市ファミリー・サポート・センター

本部	富山市新富町一丁目2番3号CiC4階	TEL 076-432-7212 FAX 076-432-7214
大沢野・大山支部	富山市春日96番地1(富山市大沢野健康福祉センター内)	TEL 076-467-5232 FAX 076-467-5232
(大山窓口)	富山市上滝525番地(富山市大山行政サービスセンター地域福祉課)	TEL 076-483-1214 FAX 076-483-3081
婦中・八尾支部	富山市婦中町速星754番地(富山市婦中行政サービスセンター内)	TEL 076-465-3050 FAX 076-465-3050
(八尾窓口)	富山市八尾町福島151番地(富山市八尾行政サービスセンター地域福祉課)	TEL 076-455-2461 FAX 076-455-2001

